

09/821,248

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて、
る事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
h this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application:

2000年 3月31日

願 番 号
Application Number:

特願2000-136406

願 人
Applicant(s):

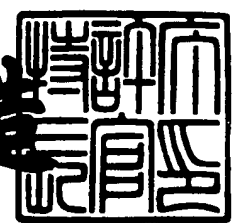
株式会社リコー

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2001年 4月 6日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3027215

【書類名】 特許願

【整理番号】 0002642

【提出日】 平成12年 3月31日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04N 5/225

【発明の名称】 画像入力装置、デジタルカメラ、携帯情報入力装置、情報処理装置、および画像入力システム

【請求項の数】 20

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号 株式会社リコー内

 【氏名】 関 和之

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号 株式会社リコー内

 【氏名】 鈴木 啓一

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号 株式会社リコー内

 【氏名】 興石 隆保

【特許出願人】

 【識別番号】 000006747

 【氏名又は名称】 株式会社リコー

【代理人】

 【識別番号】 100089118

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 酒井 宏明

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 036711

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9808514

【書類名】 明細書

【発明の名称】 画像入力装置、デジタルカメラ、携帯情報入力装置、情報処理装置、および画像入力システム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 画像入力装置に操作指示を与えるための、当該画像入力装置の機種名情報を含みかつ当該機種に応じた撮影リストを作成する撮影リスト作成手段と、

前記撮影リスト作成手段で作成された撮影リストを前記画像入力装置に転送するための通信手段と、

を備えたことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】 前記撮影リスト作成手段は、接続される画像入力装置から前記機種名情報を読み出すことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】 前記撮影リスト作成手段は、接続される画像入力装置に格納されている記録ファイルのヘッダーから前記機種名情報を読み出すことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】 さらに、前記画像入力装置の機種毎の機種能力情報が登録されたテーブルを備え、

前記撮影リスト作成手段は、前記テーブルを使用して前記機種に応じた撮影リストを作成することを特徴とする請求項 1 ～請求項 3 のいずれか 1 つに記載の情報処理装置。

【請求項 5】 被写体像を結像するための光学系と、

結像された被写体像を画像データに変換する撮像手段と、

情報処理装置から転送されてくる、機種名情報を含みかつ当該機種に応じた撮影リストを受信する受信手段と、

前記受信手段で受信した撮影リストを記憶する記憶手段と、

前記撮影リストの機種名情報を読み出して、自機の機種名と前記撮影リストの機種名とが一致するか否かを判断する判断手段と、

を備え、

前記判断手段により自機の機種名と前記撮影リストの機種名とが一致すると判

断された場合に、当該撮影リストに基づいて撮影を行うことを特徴とする画像入力装置。

【請求項 6】 請求項 1～請求項 4 のいずれか 1 つに記載の画像入力装置と、前記請求項 5 に記載された画像入力装置とで構築されることを特徴とする画像入力システム。

【請求項 7】 複数セルからなる帳票形式の入力画面を表示する表示手段と、
前記入力画面のセルにカット名を入力する入力手段と、
前記カット名が入力されたセル位置の 1 または複数を指定する指定手段と、
前記指定手段で指定されたセル位置のカット名を含む撮影リストファイルを作成する撮影リストファイル作成手段と、
前記撮影リストファイルを画像入力装置に転送するための転送手段と、
を備えたことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 8】 複数セルからなる帳票形式の入力画面を表示する表示手段と、
前記入力画面のセルにカット名および当該カット名に対応する撮影指示項目を入力する入力手段と、
前記カット名が入力されたセル位置の 1 または複数を指定する指定手段と、
前記指定手段で指定されたセル位置のカット名および当該カット名に対応する撮影指示項目を含む撮影リストファイルを作成する撮影リストファイル作成手段と、
前記撮影リストファイルを画像入力装置に転送するための転送手段と、
を備えたことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 9】 複数セルからなる帳票形式の入力画面を表示する表示手段と、
前記入力画面のセルにカット名を入力する入力手段と、
前記入力画面の少なくとも一部のセルのサイズを変更するセルサイズ変更手段と、
前記カット名が入力されたセル位置の 1 または複数を指定する第 1 の指定手段

と、

カット名毎に画像を貼り付けるべきセル位置を指定する第 2 の指定手段と、

前記第 1 の指定手段で指定されたセル位置のカット名と前記第 2 の指定手段で指定されたセルのセルサイズを含む撮影リストファイルを作成する撮影リストファイル作成手段と、

前記撮影リストファイルを画像入力装置に転送するための転送手段と、

を備えたことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 1 0】 複数セルからなる帳票形式の入力画面を表示する表示手段と、

前記入力画面のセルにカット名を入力する入力手段と、

前記入力画面の少なくとも一部のセルのサイズを変更するセルサイズ変更手段と、

前記セルに画像を貼り付ける画像貼り付け手段と、

前記カット名が入力されたセル位置の 1 または複数を指定する第 1 の指定手段と、

カット名毎に画像が貼り付けられたセルのセル位置を指定する第 2 の指定手段と、

前記第 1 の指定手段で指定されたセル位置のカット名と前記第 2 の指定手段で指定されたセルに貼り付けられた画像の画像サイズを含む撮影リストファイルを作成する撮影リストファイル作成手段と、

前記撮影リストファイルを画像入力装置に転送するための転送手段と、

を備えたことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 1 1】 複数セルからなる帳票形式の入力画面を表示する表示手段と、

前記入力画面のセルにカット名を入力する入力手段と、

前記入力画面の少なくとも一部のセルのサイズを変更するセルサイズ変更手段と、

前記セルに画像を貼り付ける画像貼り付け手段と、

前記カット名が入力されたセルのセル位置の 1 または複数を指定する第 1 の指

定手段と、

カット名毎に画像が貼り付けられたセルのセル位置を指定する第 2 の指定手段と、

前記第 1 の指定手段で指定されたセル位置のカット名と前記第 2 の指定手段で指定されたセル位置のセルに貼り付けられた画像の画像サイズを含む撮影リストファイルを作成する撮影リストファイル作成手段と、

前記撮影リストファイルを画像入力装置に転送するための転送手段と、
を備えたことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 1 2】 請求項 7～請求項 1 1 のいずれか 1 つに記載の情報処理装置と、当該情報処理装置から転送されてくる撮影リストファイルを受信して、当該撮影リストファイルに従って撮影した画像を前記情報処理装置に転送する画像入力装置とで構築されることを特徴とする画像入力システム。

【請求項 1 3】 被写体像を結像するための光学系と、
結像された被写体像を画像データに変換する撮像手段と、
外部とデータ通信するための通信手段と、
前記通信手段で E メールを受信した場合に、E メール内に撮影リストが含まれているか否かを判断する第 1 の判断手段と、

前記第 1 の判断手段により E メール内に撮影リストが含まれている判断された場合に、当該撮影リストが自機の機種に応じた撮影リストであるか否かを判断する第 2 の判断手段と、

を備え、

前記第 2 の判断手段により自機の機種に応じた撮影リストであると判断した場合に、当該撮影リストに基づいて撮影を行うことを特徴とする画像入力装置。

【請求項 1 4】 被写体像を結像するための光学系と、
結像された被写体像を画像データに変換する撮像手段と、
Web サーバーのホームページをブラウジングして、自機の機種に応じた撮影リストがある場合に当該撮影リストをダウンロードする Web ブラウジング手段と、

前記ダウンロードされた撮影リストを記録する記録手段と、

を備え、

前記ダウンロードされた撮影リストに基づいて撮影を行うことを特徴とする画像入力装置。

【請求項 1 5】 被写体像を結像するための光学系と、

結像された被写体像を画像データに変換する撮像手段と、

Webサーバーのホームページ上の撮影リストをブラウジングするWebブラウジング手段と、

を備え、

前記ホームページ上の撮影リストに基づいて撮影を行うことを特徴とする画像入力装置。

【請求項 1 6】 前記撮影リストに基づいて撮影した画像を前記ホームページにアップロードすることを特徴とする請求項 1 4 または請求項 1 5 に記載の画像入力装置。

【請求項 1 7】 少なくとも、記録すべき被記録対象の 1 または複数のカット名を含む撮影リストを作成して画像入力装置に送出する撮影リスト作成・送出手段と、

前記画像入力装置で前記撮影リストに従って撮影した画像を当該撮影リストとともに受信するための受信手段と、

複数セルからなる帳票形式の入力画面を表示する表示手段と、

前記撮影リストのカット名をセルに表示すると共に、前記カット名に対応させて撮影した画像を貼り付けるべきセルのサイズを読み出し、読み出したセルのサイズに撮影した画像のサイズを変換し、前記撮影した画像を貼り付けるべきセルに貼り付ける貼り付け手段と、

を備えたことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 1 8】 前記貼り付け手段は、前記画像が貼り付けられたセルのサイズが変更された場合には、変更されたセルのサイズに画像を変換することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 1 9】 請求項 5 および請求項 1 3 ～請求項 1 6 のいずれか 1 つに記載の画像入力装置を適用したことを特徴とするデジタルカメラ。

【請求項 2 0】 請求項 5 および請求項 1 3 ～請求項 1 6 のいずれか 1 つに記載の画像入力装置を適用したことを特徴とする携帯情報入力装置。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、画像入力装置、デジタルカメラ、携帯情報入力装置、情報処理装置、および画像入力システムに関し、詳細には、撮影リストを使用する画像入力装置、デジタルカメラ、携帯情報入力装置、情報処理装置、および画像入力システムに関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

デジタルカメラの原型は、電子スチルカメラであり、実用的には 1 9 8 1 年頃発売されたソニーのマビカから始まっている。その後、撮像デバイス C C D の高詳細化・低価格化、記録媒体カードメモリの大容量化・小型化、および静止画像圧縮符号方式である J P E G の半導体チップの出現などに伴い、現在のデジタルカメラは、小型化・低価格・高性能化が進んできている。

【 0 0 0 3 】

また、携帯電話の急激な普及やノートパーソナルコンピュータの小型化、シャープのザウルスに代表される P D A の普及によって、移動中に機器を使用する環境が整ってきた中で、画像入力手段として普及してきたデジタルカメラが、パソコンやネットワークに結合し、画像だけでなく、音声・動画などのあらゆるイメージ情報のキャプチャとして、マルチメディアシステムの重要な要素になってきている。

【 0 0 0 4 】

また、デジタルカメラは、上述のキャプチャのみならず、近時研究が活発化してきている身につけるコンピュータ（ウェアラブル・コンピュータ）の候補としても、携帯電話・P D A ・パットフォームパーソナルコンピュータとともに期待されている。さらに、デジタルカメラは、インターネットとの接続機能、個人情報管理機能や、プレゼン機能等のより高機能なものへの対応が望まれている。

【 0 0 0 5 】

例えば、特開平 1 0 - 3 4 1 3 9 6 号公報の「デジタルカメラの機能的付加方法」では、外部記録媒体に記録されているプログラムを受け取りデジタルカメラの記憶媒体に記録する第 1 のプロセスと、所望の時期に前記プログラムを前記カメラの記録媒体から読み出して実行する第 2 のプロセスとを有することにより、所望する機能を追加するために、外部からプログラムを導入可能とした技術が開示されている。

【 0 0 0 6 】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、特開平 1 0 - 3 4 1 3 9 6 号公報の「デジタルカメラの機能的付加方法」では、必要な被写体の取り忘れや作業漏れを防止できないという問題がある。

【 0 0 0 7 】

本発明は、上記に鑑みてなされたものであり、必要な被写体の取り忘れや作業漏れを防止可能な画像入力装置、デジタルカメラ、携帯情報入力装置、情報処理装置、および画像入力システムを提供することを目的とする。

【 0 0 0 8 】

【課題を解決するための手段】

上記課題を達成するために、請求項 1 に係る発明は、画像入力装置に操作指示を与えるための、当該画像入力装置の機種名情報を含みかつ当該機種に応じた撮影リストを作成する撮影リスト作成手段と、前記撮影リスト作成手段で作成された撮影リストを前記画像入力装置に転送するための通信手段と、を備えたものである。

【 0 0 0 9 】

【発明の実施の形態】

以下、図面を参照して、本発明に係る画像入力装置、デジタルカメラ、携帯情報入力装置、情報処理装置、および画像入力システムの好適な実施の形態を詳細に説明する。

【 0 0 1 0 】

以下、〔本実施の形態に係るデジタルカメラシステムの構成〕、〔本実施の形態に係るデジタルカメラの構成〕、〔本実施の形態に係るパーソナルコンピュータの構成〕、〔動作例 1〕～〔動作例 2 2〕を順に説明する。

【 0 0 1 1 】

〔本実施の形態に係るデジタルカメラシステムの構成〕

図 1 は、本発明にかかるデジタルカメラシステムの概略構成例を示している。同図において、1 0 0 はデジタルカメラを示し、2 0 0 はパーソナルコンピュータ、3 0 0 は Web サーバーを示す。デジタルカメラ 1 0 0 はパーソナルコンピュータ 2 0 0 に接続され、また、ネットワーク 4 0 0 を介して Web サーバー 3 0 0 に接続されている。

【 0 0 1 2 】

パーソナルコンピュータ 2 0 0 では、撮影リストを作成し撮影指示ファイルとしてデジタルカメラ 1 0 0 に転送する。デジタルカメラ 1 0 0 では、撮影指示ファイルを使用して撮影を行う。そして、デジタルカメラ 1 0 0 は、撮影した画像をパーソナルコンピュータ 2 0 0 に転送したり、Web サーバー 3 0 0 にアップロードしたりする。また、デジタルカメラ 1 0 0 は、Web サーバー 3 0 0 のホームページ上の撮影指示ファイルをダウンロードして、撮影リストを使用して撮影を行う。

【 0 0 1 3 】

上記デジタルカメラシステムの基本動作の概略を説明する。まず、パーソナルコンピュータ 2 0 0 では、ユーザーが、文書を作成しながら写真の撮影作業の構成（写真の目的、構図、細かな撮影条件、撮影後の作業指示等）を練り、撮影指示ファイルを作成してデジタルカメラに転送する。図 2 は撮影指示ファイルの一例を示す図である。図 2 に示す撮影指示ファイルは、カット No と、カット名と、撮影指示の内容からなる。そして、デジタルカメラ 1 0 0 では、ユーザが、パーソナルコンピュータ 2 0 0 から転送されてきた撮影指示ファイルの撮影指示を見ながら撮影を行い、撮影した画像をパーソナルコンピュータ 2 0 0 に転送する。パーソナルコンピュータ 2 0 0 では、デジタルカメラ 1 0 0 から転送されてくる画像を選択して文書に貼り付け等を行う。なお、撮影指示ファイルの撮影指示

は、図2に示したような、操作者に指示を与えるためのテキスト文書や指示図面等の場合もあるが、撮影指示に従った処理をデジタルカメラで自動的に実行させるための操作コマンドの場合もある。

【0014】

図3は、図1のデジタルカメラ100の構成を示すブロック図である。同図において、100は、デジタルカメラを示している。デジタルカメラ100は、同図に示す如く、デジタルカメラの全体の制御を行うシステム制御部101と、被写体を撮像して画像データを出力するカメラ部102と、カメラ部102から出力される画像データに対して画像処理等を行う画像データ記録・再生部103と、画像データ等の表示を行う表示部104と、音声データの記録・再生を行うための音声データ記録・再生部105と、ユーザがデジタルカメラに動作指示を与えるための操作部106およびタッチパネル操作部107と、画像データ等の各種データが格納される記録部108と、パーソナルコンピュータ／I F部109と、カードスロット部110と、電源部111とを備えている。

【0015】

上記システム制御部101は、上述したように、デジタルカメラの全体を制御するユニットであり、FLASH_ROM113に格納されたプログラムに従って、SD-RAM113をワークエリアとして使用してデジタルカメラの各種の制御を行うCPU111と、制御プログラムやフォント、アイコン等が記録されたFLASH_ROM113と、CPU112のワークエリアとして使用されるSD-RAM114とを備えている。また、システム制御部101は、AE・AF・AWB処理、画像編集／合成処理（レタッチ・上書き文字等の処理）、撮影リスト処理（リスト作成／フォルダ管理）、暗号化／電子すかし処理等の制御やメモリ制御を行う。

【0016】

上記カメラ部102は、上述したように被写体を撮像して画像データを出力するためのものであり、被写体像を結像するためのレンズ（ズームレンズ、フォーカスレンズ）、シャッター、およびアイリスや、レンズ（ズームレンズ、フォーカスレンズ）、シャッター、およびアイリス等を駆動するためのモータと、モータ

タを駆動するためのモータドライバ、結像された被写体像を電気信号（アナログの画像データ）に変換するCCD、該CCDを駆動するためのCCD駆動回路、CCDから出力される画像データの低雑音化のためのCDS回路、CCDから出力されるアナログの画像データをデジタル信号（デジタル画像データ）に変換するA/D変換器等を備える。

【0017】

画像データ記録・再生部103は、IPP115とフレームメモリ116からなり、カメラ部102のCCD駆動回路を制御してCCD駆動タイミングやレンズ駆動モータを制御してフォーカシングや露出調整、画像信号の圧縮伸長、画像信号を表示部104のLCDに表示するための信号処理を行い、また、ユーザーインターフェースのための種々のグラフィック画像を生成し、表示部104のLCDに表示するためのものである。表示部104は、LCDを備え、画像を表示し、また、ユーザーインターフェースのためのグラフィックを表示するためのものである。

【0018】

上記記録部108には、画像データ、サムネイル画像データ、メールデータ、手書きデータ、音声データや、その他のデータが記録される。パーソナルコンピュータ/IF部109は、RS232CやUSB等で外部装置（例えば、パソコン）とデータ通信するためのインターフェースである。カードスロット部110は、パーソナルコンピュータMCIA規格に準拠したパーソナルコンピュータカードを差し込むためのアダプターである。パーソナルコンピュータカードとしては、無線若しくは有線でデータ通信を行うためのデータ通信カード等がカードスロット部に差し込まれる。

【0019】

操作部106は、ユーザがデジタルカメラに動作指示を与えるためのものであり、操作ボタン（リリースキー等）やモードダイヤルと、操作ボタン（レリーズキー等）やモードダイヤルの状態を検出してシステム制御部101に通知するキー制御部等を備えている。

【0020】

タッチパネル操作部 1 0 7 は、表示部 1 0 4 の L C D に貼り付けられたタッチパネル操作部と、タッチパネル操作部からの入力を C P U 1 1 2 に通知するパネル制御部とを備えている。

【 0 0 2 1 】

音声データ記録・再生部 1 0 5 は、マイク、アンプ、A / D 変換器、D / A 変換器等を備えており、マイクを介して入力される音声を A / D 変換して音声データとしてシステム制御部 1 0 1 に出力し、また、システム制御部 1 0 1 から入力される音声データを D / A 変換して、スピーカーから出力する。

【 0 0 2 2 】

上述のデジタルカメラ 1 0 0 は、静止画撮影、動画撮影、音声記録、二値画像記録が可能となっており、さらに、Eメールの送受信機能、Webブラウジング機能、自動HTML作成機能等を備えている。

【 0 0 2 3 】

図 4 は、図 1 のパーソナルコンピュータ 2 0 0 を示しており、パーソナルコンピュータ 2 0 0 は、操作指示を与える入力部 2 0 1 と、表示部 2 0 2 と、装置全体の制御を司る C P U 2 0 3 と、外部装置とデータ通信をおこなう通信部 2 0 4 と、記録媒体 2 0 6 のデータのリード／ライトを行う記録媒体ドライブ装置 2 0 5 と、C P U 2 0 3 を動作させるプログラム等を格納した記録媒体 2 0 6 と、及び C P U 2 0 3 のワークエリアとして使用される R A M 2 0 7 と、を備えている。各部は、バスを介して互いに接続されている。

【 0 0 2 4 】

上記入力部 2 0 1 は、カーソルキー、数字入力キー及び各種機能キー等を備えたキーボード、マウス、並びに画像を読みとるスキャナ等からなる。この入力部 2 0 1 は、必ずしもパーソナルコンピュータ 2 0 0 にローカルに接続される必要はなく、P H S ・リモートターミナル（例えば、P e r s o n a l D i g i t a l A s s i s t a n t）等のリモート装置や、当該パーソナルコンピュータ 2 0 0 と双方向でデータ通信が可能な装置等を入力手段として使用しても良い。また、入力部 2 0 1 は、C P U 2 0 3 に操作コマンドを与えて動作させるためのユーザーインターフェースである。なお、入力部 2 0 1 としては、上記したもの

に限られるものではなく、タッチパネル操作部、トラックボールや音声認識機構等を用いても良い。

【0025】

上記表示部202は、CRT (Cathod Ray Tube) LCD (Liquid Crystal Display) や、プラズマディスプレイ等により構成され、CPU203から入力される表示データに応じた表示が行われる。

【0026】

上記CPU203は、例えば、32ビットマイクロプロセッサ、他のマイクロプロセッサ、DSP (Digital Signal Processor) や、プログラマブルロジック等からなる。また、CPU203は、必ずしもシングルフロセッサである必要はなく、分散処理をするタイプのものでも良い。このCPU203は、記録媒体206に格納されているプログラムに従って、装置全体を制御する中央制御ユニットであり、このCPU203は、入力部201、表示部202、通信部204、記録媒体アクセス制御装置205、及びRAM208が接続されており、データ通信、メモリへのアクセスによるアプリケーションプログラムの読み出しや各種データのリード/ライト、データ/コマンド入力、カラー表示等を制御する。

【0027】

上記通信部204は、電話回線、ISDN (Integrated Services Digital Network)、LAN (Local Area Network) や、WAN (Wide Area Network) 等に接続され、内蔵したモデム (図示せず) を経て電話回線を介してデータ通信を行う。また、通信部204は、RS232CインターフェースやIrDAインターフェースを備えており、デジタルカメラ等の外部機器と前述のRS232Cインターフェースを介してケーブル (有線) によるデータ通信や前述のIrDAインターフェースを介して赤外線 (無線) によるデータ通信を行う。

【0028】

上記記録媒体206は、CPU203が実行可能なOSプログラム (例えば、

WINDOWS) やアプリケーションプログラム等の各種プログラムやデータを格納する。アプリケーションプログラムとしては、例えば、上述したデジタルカメラの撮影リスト等の作成を行うためのデジタルカメラ用プログラム等がある。また、記録媒体には、デジタルカメラの機種毎の使用可能な機能が登録された機種テーブルが記憶されている。具体的には、この機種テーブルには、機種コードに対応させて各機種が使用可能な機能が登録されている。上述の記録媒体は、例えば、フロッピーディスク、ハードディスク、CD-ROM、DVD-ROM、MOやパーソナルコンピュータカード等の光学的・磁氣的・電氣的な記録媒体から成る。上記各種プログラムは、CPU 203 が直接又は間接に解釈可能なオブジェクトコードやソースコード等の形態で記録媒体 206 に格納されている。記録媒体 206 に格納されたプログラムはネットワークを介して配信可能である。

【0029】

上記RAM 209は、指定されたプログラム、入力指示、入力データ及び処理結果等を格納するワークメモリと、表示部12の表示画面に表示する表示データを一時的に格納する表示メモリとを備えている。

【0030】

パーソナルコンピュータ200では、記録媒体206に格納されているデジタルカメラ用プログラムを起動して、操作者が撮影指示リストを作成し、作成した撮影リストをデジタルカメラ100に転送する。

【0031】

つぎに、デジタルカメラ100が、パーソナルコンピュータ200等から転送される撮影リストを使用して撮影する場合の動作例1～動作例22を説明する。

【0032】

[動作例1]

動作例1を図5参照して説明する。図5は、動作例1におけるデジタルカメラ100側の動作を説明するためのフローチャートを示す。動作例1では、パーソナルコンピュータで、撮影リストフォーマットのMODELを定義して、装置のモデルを記載した撮影指示リストをデジタルカメラに転送し、デジタルカメラが、撮影指示リストの機種と一致する場合に撮影指示リストに基づいて撮影を行う

場合の動作例を説明する。

【 0 0 3 3 】

まず、パーソナルコンピュータ 2 0 0 では、デジタルカメラの機種コードを含む撮影リストを作成し、デジタルカメラ 1 0 0 に転送する（ステップ S 4 3 0）。デジタルカメラ 1 0 0 では、パーソナルコンピュータ 2 0 0 から転送されてくる撮影リストを記憶部に格納する。そして、図 5 において、まず、記憶部から撮影リストを読み出して（ステップ S 4 3 1）、撮影指示内容を読み込む（ステップ S 4 3 2）。そして、機種名（モデル名）を撮影リスト内から読み込み（ステップ S 4 3 3）、自機の機種名と撮影リストの機種名が一致しているか否かを判断する（ステップ S 4 3 4）。この判断の結果、自機の機種名と撮影リストの機種名が一致していない場合にはリターンする一方、自機の機種名と撮影リストの機種名が一致している場合には、対応する撮影リストを読み込む（ステップ S 4 3 5）。つづいて、撮影リストに基づいて撮影が行われる（ステップ S 4 3 6）。

【 0 0 3 4 】

以上説明したように、動作例 1 によれば、パーソナルコンピュータで、撮影リストフォーマットの MODEL を定義して、装置のモデルを記載した撮影指示リストをデジタルカメラに転送し、デジタルカメラが、撮影指示リストの機種と一致する場合に撮影指示リストに基づいて撮影を行うこととしたので、指示書作成・転送の作業効率をアップさせることができ、使用者の使い勝手が良くなる。

【 0 0 3 5 】

なお、ここでは、パーソナルコンピュータ 2 0 0 は、接続されるデジタルカメラの機種コードを取得し、デジタルカメラの機種毎の使用可能な機能が登録された機種テーブルを使用して、接続されるデジタルカメラの機種に対応した撮影指示リストを作成することとしたが、接続されるデジタルカメラから機種コードおよび使用可能な機能の情報を取得し、接続されるデジタルカメラの機種に対応した撮影指示リストを作成することにしても良い。

【 0 0 3 6 】

〔動作例 2〕

動作例 2 を図 6 を参照して説明する。図 6 は動作例 2 におけるパーソナルコンピュータ側の動作を説明するためのフローチャートを示す。動作例 2 では、パーソナルコンピュータで、デジタルカメラの機種に対応した撮影指示リストを作成して、デジタルカメラに転送する場合の動作例を説明する。

【 0 0 3 7 】

まず、パーソナルコンピュータ 2 0 0 では、撮影リスト中のパラメータとしてデジタルカメラの機種指定を行い、機種テーブルを使用して当該機種に対応した撮影リストを作成する（ステップ S 4 4 2）。つづいて、接続されたデジタルカメラの機種名を読み込む（ステップ S 4 4 3）。撮影リスト中で指定した機種と接続された機種の機種名が一致するか否かを判断する（ステップ S 4 4 4）。

【 0 0 3 8 】

この判断の結果、撮影リスト中で指定した機種と接続された機種の機種名が一致する場合には、機種に対応した撮影リストをデジタルカメラに転送する（ステップ S 4 4 5）一方、撮影リスト中で指定した機種と接続された機種の機種名が一致しない場合には、表示部に撮影リスト転送エラーの表示を行う（ステップ S 4 4 6）。

【 0 0 3 9 】

以上説明したように、動作例 2 によれば、パーソナルコンピュータで、デジタルカメラの機種に応じた撮影指示リストを作成して、デジタルカメラに転送することとしたので、指示書作成・転送の作業効率をアップさせることができ、使用者の使い勝手が良くなる。

【 0 0 4 0 】

なお、ここでは、パーソナルコンピュータ 2 0 0 は、接続されるデジタルカメラの機種コードを取得し、デジタルカメラの機種毎の使用可能な機能が登録された機種テーブルを使用して、接続されるデジタルカメラの機種に対応した撮影指示リストを作成することとしたが、接続されるデジタルカメラから機種コードおよび使用可能な機能の情報を取得し、接続されるデジタルカメラの機種に対応した撮影指示リストを作成することにしても良い。

【 0 0 4 1 】

〔動作例 3〕

動作例 3 を図 7 を参照して説明する。図 7 は動作例 3 におけるパーソナルコンピュータ側の動作を説明するためのフローチャートを示す。動作例 3 では、パーソナルコンピュータで、デジタルカメラの機種に応じた撮影指示リストを作成して、デジタルカメラに転送する場合の動作例を説明する。

【0042】

まず、パーソナルコンピュータ 200 では、撮影リストファイルを作成する（ステップ S441）。つづいて、接続されたデジタルカメラの機種名（モデル）をデジタルカメラから読み出す（ステップ S451）。そして、機種テーブルを使用して、機種に対応した撮影リストを作成する（ステップ S453）。そして、接続されたデジタルカメラの機種名を読み込む（ステップ S443）。撮影リスト中で指定した機種と接続された機種の機種名が一致するか否かを判断する（ステップ S444）。

【0043】

この判断の結果、撮影リスト中で指定した機種と接続された機種の機種名が一致する場合には、当該機種に対応した撮影リストをデジタルカメラに転送する（ステップ S445）一方、撮影リスト中で指定した機種と接続された機種の機種名が一致しない場合には、表示部に撮影リスト転送エラーの表示を行う（ステップ S446）。

【0044】

以上説明したように、動作例 3 によれば、パーソナルコンピュータで、デジタルカメラの機種に応じた撮影指示リストを作成して、デジタルカメラに転送することとしたので、指示書作成・転送の作業効率をアップさせることができ、使用者の使い勝手が良くなる。

【0045】

なお、ここでは、パーソナルコンピュータ 200 は、接続されるデジタルカメラの機種コードを取得し、デジタルカメラの機種毎の使用可能な機能が登録された機種テーブルを使用して、接続されるデジタルカメラの機種に対応した撮影指示リストを作成することとしたが、接続されるデジタルカメラから機種コードお

よび使用可能な機能の情報を取得し、接続されるデジタルカメラの機種に対応した撮影指示リストを作成することにしても良い。

【 0 0 4 6 】

[動作例 4]

動作例 4 を図 8 を参照して説明する。図 8 は、動作例 4 におけるパーソナルコンピュータ側の動作を説明するためのフローチャートを示す。動作例 4 では、パーソナルコンピュータ 2 0 0 で、接続されるデジタルカメラの機種名（モデル）をデジタルカメラ 1 0 0 から読み出して、読み出した機種名（モデル）に対応した撮影指示リストを作成して、デジタルカメラ 1 0 0 に転送する場合の動作例を説明する。

【 0 0 4 7 】

まず、パーソナルコンピュータ 2 0 0 では、撮影リストファイルを作成する（ステップ S 4 4 1）。つづいて、接続されたデジタルカメラの機種名（モデル）をデジタルカメラから読み出す（ステップ S 4 5 1）。そして、機種テーブルを使用して、機種に対応した撮影リストを作成する（ステップ S 4 5 3）。そして、撮影リストの作成が終了すると（ステップ S 4 5 4）、撮影リストをデジタルカメラに転送する（ステップ S 4 5 5）。

【 0 0 4 8 】

以上説明したように、動作例 2 9 によれば、パーソナルコンピュータで、接続されるデジタルカメラの機種名（モデル）および使用可能な機能の情報をデジタルカメラから読み出して、読み出した機種名（モデル）および使用可能な機能の情報に基づいて、撮影指示リストを作成して、デジタルカメラに転送することとしたので、指示書作成・転送の作業効率をアップさせることができ、使用者の使い勝手が良くなる。

【 0 0 4 9 】

なお、ここでは、パーソナルコンピュータ 2 0 0 は、接続されるデジタルカメラの機種コードを取得し、デジタルカメラの機種毎の使用可能な機能が登録された機種テーブルを使用して、接続されるデジタルカメラの機種に対応した撮影指示リストを作成することとしたが、接続されるデジタルカメラから機種コードお

よび使用可能な機能の情報を取得し、接続されるデジタルカメラの機種に対応した撮影指示リストを作成することにも良い。

【 0 0 5 0 】

[動作例 5]

動作例 5 を図 9 を参照して説明する。図 9 は動作例 5 におけるパーソナルコンピュータ側の動作を説明するためのフローチャートを示す。動作例 5 では、パーソナルコンピュータで、接続されるデジタルカメラの機種名（モデル）が記載されたファイルをデジタルカメラから読み出して、読み出したファイル内の機種名（モデル）に対応した撮影指示リストを作成し、デジタルカメラに転送する場合の動作例を説明する。

【 0 0 5 1 】

まず、パーソナルコンピュータ 2 0 0 では、撮影リストファイルを作成する（ステップ S 4 6 1）。つづいて、接続されたデジタルカメラの機種名（モデル）が記載されたファイルをデジタルカメラから読み出す（ステップ S 4 6 3）。そして、読み出したファイル内の機種名に基づいて、基づいて機種能力を解析し（ステップ S 4 6 3）、機種に応じた撮影指示リストを作成できるような編集プログラムを動作させ、撮影リストを作成する（ステップ S 4 6 4）。そして、撮影リストの作成が終了すると（ステップ S 4 6 4）、撮影リストをデジタルカメラに転送する（ステップ S 4 6 6）。

【 0 0 5 2 】

以上説明したように、動作例 5 によれば、パーソナルコンピュータで、接続されるデジタルカメラの機種名（モデル）および使用可能な機能の情報のファイルをデジタルカメラから読み出して、読み出した機種名（モデル）および使用可能な機能の情報に基づいて、撮影指示リストを作成して、デジタルカメラに転送することとしたので、指示書作成・転送の作業効率をアップさせることができ、使用者の使い勝手が良くなる。

【 0 0 5 3 】

[動作例 6]

動作例 6 を図 1 0 を参照して説明する。図 1 0 は動作例 6 におけるパーソナル

コンピュータ側の動作を説明するためのフローチャートを示す。動作例 6 では、パーソナルコンピュータで、接続されるデジタルカメラの J P E G ファイルのヘッダーを読み出し、ヘッダーに格納されている機種コードに応じた撮影指示リストを作成して、デジタルカメラに転送する場合の動作例を説明する。

【 0 0 5 4 】

まず、パーソナルコンピュータ 2 0 0 では、撮影リストファイルを作成する（ステップ S 4 7 1）。つづいて、接続されたデジタルカメラの記録部またはカードスロット部に格納されている J P E G ファイルのヘッダーを読み込む（ステップ S 4 7 2）。そして、J P E G ファイルのヘッダーに格納されている機種コードを解析する（ステップ S 4 7 3）。そして、機種に応じた撮影指示リストを作成できるような編集プログラムを動作させ、撮影リストを作成する（ステップ S 4 7 4）。そして、撮影リストの作成が終了すると（ステップ S 4 7 5）、撮影リストをデジタルカメラに転送する（ステップ S 4 7 6）。

【 0 0 5 5 】

以上説明したように、動作例 2 9 によれば、パーソナルコンピュータで、接続されるデジタルカメラの J P E G ファイルのヘッダーを読み出し、ヘッダーに格納されている機種コードに応じた撮影指示リストを作成して、デジタルカメラに転送することとしたので、指示書作成・転送の作業効率をアップさせることができ、使用者の使い勝手が良くなる。

【 0 0 5 6 】

〔動作例 7〕

動作例 7 を図 1 1 を参照して説明する。図 1 1 は動作例 7 におけるパーソナルコンピュータ側の動作を説明するためのフローチャートを示す。動作例 3 2 では、パーソナルコンピュータで、予めテンプレートのマクロプログラムにカット名として取り出すセルの位置の情報が埋め込まれていて、マクロを駆動して、自動的に撮影リストを作成して、デジタルカメラに転送する場合の動作例を説明する。

【 0 0 5 7 】

まず、パーソナルコンピュータ 2 0 0 では、撮影リスト書き出しマクロがスタ

ートすると、撮影リスト書き出しボタンが押下されたか否かを判断し（ステップ S 4 8 1）、撮影リスト書き出しボタンが押下された場合には、選択されたセル内に記載された項目をリストの形式に並べる（ステップ S 4 8 2）。そして、撮影リストファイルを作成する（ステップ S 4 8 3）。つづいて、デジタルカメラが接続されているか否かを判断し（ステップ S 4 8 4）、デジタルカメラが接続されている場合には、ステップ S 4 8 5に移行して、デジタルカメラに撮影リストファイルを転送する。

【 0 0 5 8 】

以上説明したように、動作例 7 によれば、パーソナルコンピュータで、予めテンプレートのマクロプログラムにカット名として取り出すセルの位置の情報が埋め込まれていて、マクロを駆動して、自動的に撮影リストを作成して、デジタルカメラに転送することとしあので、指示書作成・転送の作業効率をアップさせることができ、使用者の使い勝手が良くなる。

【 0 0 5 9 】

〔動作例 8〕

動作例 8 を図 1 2 参照して説明する。図 1 2 は動作例 8 におけるパーソナルコンピュータ側およびデジタルカメラ側の動作を説明するためのフローチャートを示す。動作例 8 では、パーソナルコンピュータで、セルの位置を指定し、マクロを駆動して、自動的に撮影リストを作成して、デジタルカメラに転送する場合の動作例を説明する。

【 0 0 6 0 】

まず、パーソナルコンピュータ 2 0 0 では、撮影リスト書き出しマクロがスタートすると、撮影リスト書き出しボタンが押下されたか否かを判断し（ステップ S 4 9 1）、撮影リスト書き出しボタンが押下された場合には、セルの位置を指定し、選択されたセル内に記載された項目をリストの形式に並べる（ステップ S 4 9 2）。そして、撮影リストファイルを作成する（ステップ S 4 9 3）。つづいて、デジタルカメラが接続されているか否かを判断し（ステップ S 4 9 4）、デジタルカメラが接続されている場合には、デジタルカメラが接続されていると判断した場合には、ステップ S 4 9 5 に移行して、デジタルカメラに撮影リスト

ファイルを転送する。

【 0 0 6 1 】

他方、デジタルカメラでは、パーソナルコンピュータ（PC）と接続されているか否かを判断し（ステップ S 5 0 1）、パーソナルコンピュータが接続されている場合には、ステップ S 5 0 2 に移行し、デジタルカメラから撮影リストが転送されてきたか否かを判断し、デジタルカメラから撮影リストが転送されてきた場合には、自機の機種に応じた撮影リストであるか否かを判断し（ステップ S 5 0 3）、自機の機種に応じた撮影リストである場合には、撮影リストを読み込む（ステップ S 5 0 4）。つづいて、撮影リスト撮影モードであるか否かを判断し（ステップ S 5 0 5）、撮影リスト撮影モードである場合には、撮影リスト内のカット名に応じた撮影を行う（ステップ S 5 0 6）。

【 0 0 6 2 】

以上説明したように、動作例 8 によれば、パーソナルコンピュータで、予ユーザーによって、カット名として取り出すセルの位置を指示し、マクロを駆動して、自動的に表から撮影指示リストを作成して、デジタルカメラに転送することとしたので、指示書作成・転送の作業効率をアップさせることができ、使用者の使い勝手が良くなる。

【 0 0 6 3 】

〔動作例 9〕

動作例 9 を図 1 3 を参照して説明する。図 1 3 は動作例 9 におけるパーソナルコンピュータ側およびデジタルカメラ側の動作を説明するためのフローチャートを示す。動作例 3 3 では、パーソナルコンピュータで、セルの位置を指定し、マクロを駆動して、自動的に撮影リストを作成して、デジタルカメラに転送する場合の動作例を説明する。

【 0 0 6 4 】

まず、パーソナルコンピュータ 2 0 0 では、撮影リスト書き出しマクロがスタートすると、撮影リスト書き出しボタンが押下されたか否かを判断し（ステップ S 5 0 1）、撮影リスト書き出しボタンが押下された場合には、選択されたセル内に記載された撮影指示リストを読み込む（ステップ S 5 1 2）。そして、撮影

リストファイルとして撮影指示項目も含んだファイルを作成する（ステップ S 5 1 3）。つづいて、デジタルカメラが接続されているか否かを判断し（ステップ S 5 1 4）、デジタルカメラが接続されている場合には、デジタルカメラが接続されていると判断した場合には、ステップ S 5 1 5 に移行して、デジタルカメラに撮影リストファイルを転送する。

【 0 0 6 5 】

他方、デジタルカメラでは、パーソナルコンピュータ（P C）と接続されているか否かを判断し（ステップ S 5 2 1）、パーソナルコンピュータが接続されている場合には、ステップ S 5 2 2 に移行し、デジタルカメラから撮影リストが転送されてきたか否かを判断し、デジタルカメラから撮影リストが転送されてきた場合には、自機の機種に応じた撮影リストであるか否かを判断し（ステップ S 5 2 3）、自機の機種に応じた撮影リストである場合には、撮影リスト内に記載された撮影項目を読み込む（ステップ S 5 2 4）。つづいて、撮影リスト撮影モードであるか否かを判断し（ステップ S 5 2 5）、撮影リスト撮影モードである場合には、撮影リスト内のカット名に応じた撮影を行う（ステップ S 5 2 6）。

【 0 0 6 6 】

以上説明したように、動作例 9 によれば、パーソナルコンピュータで、予ユーザーによって、カット名として取り出すセルの位置を指示し、マクロを駆動して、自動的に表から撮影指示リストを作成して、デジタルカメラに転送することとしたので、指示書作成・転送の作業効率をアップさせることができ、使用者の使い勝手が良くなる。

【 0 0 6 7 】

〔動作例 1 0〕

動作例 1 0 を図 1 4 を参照して説明する。図 1 4 は動作例 1 0 におけるパーソナルコンピュータ側およびデジタルカメラ側の動作を説明するためのフローチャートを示す。動作例 3 5 では、パーソナルコンピュータで、項目名として取り出すセルの位置と、画像を貼り付ける位置を指示し、画像を貼り付けるセルのサイズを読み出して、マクロを起動して、自動的に撮影リストを作成して、デジタルカメラに転送する場合の動作例を説明する。

【0068】

まず、パーソナルコンピュータ200では、撮影リスト書き出しマクロがスタートすると、撮影リスト書き出しボタンが押下されたか否かを判断し（ステップS531）、撮影リスト書き出しボタンが押下された場合には、選択されたセルの位置に記載された項目をリストの形式に並べる（ステップS532）。そして、貼り付ける位置を指定し、そのセルサイズを読み込む（ステップS533）。つづいて、デジタルカメラが接続されているか否かを判断し（ステップS534）、デジタルカメラが接続されている場合には、デジタルカメラが接続されていると判断した場合には、ステップS535に移行して、カット名、貼り付けサイズの入った撮影リストファイルを転送する。

【0069】

他方、デジタルカメラでは、パーソナルコンピュータ（PC）と接続されているか否かを判断し（ステップS541）、パーソナルコンピュータが接続されている場合には、ステップS542に移行し、デジタルカメラから撮影リストが転送されてきたか否かを判断し、デジタルカメラから撮影リストが転送されてきた場合には、自機の機種に応じた撮影リストであるか否かを判断し（ステップS543）、自機の機種に応じた撮影リストである場合には、撮影リスト内に記載された撮影項目を読み込む（ステップS544）。つづいて、撮影リスト撮影モードであるか否かを判断し（ステップS545）、撮影リスト撮影モードである場合には、撮影リスト内の貼り付けサイズを読み込む（ステップS546）。そして、貼り付けサイズに応じた画像の撮影を行う（ステップS547）。撮影後、撮影が全て終了したか否かを判断し、撮影が全て終了していない場合にはステップS546に移行して、撮影が全て終了するまで同じ処理を繰り返す（ステップS548）。

【0070】

以上説明したように、動作例10によれば、パーソナルコンピュータで、項目名として取り出すセルの位置と、画像を貼り付ける位置を指示し、画像を貼り付けるセルのサイズを読み出して、マクロを起動して、自動的に撮影リストを作成して、デジタルカメラに転送することとしたので、指示書作成・転送の作業効率

をアップさせることができ、使用者の使い勝手が良くなる。

【 0 0 7 1 】

〔動作例 1 3〕

動作例 1 3 を図 1 5 を参照して説明する。図 1 5 は動作例 1 3 におけるパーソナルコンピュータ側およびデジタルカメラ側の動作を説明するためのフローチャートを示す。動作例 1 3 では、パーソナルコンピュータで、文書に予めダミーの画像を貼り付けておいて、その画像のサイズを読み出して、マクロを起動して、自動的に画像サイズを撮影リストに取り込み、撮影リストをデジタルカメラに転送する場合の動作例を説明する。

【 0 0 7 2 】

まず、パーソナルコンピュータ 2 0 0 では、撮影リスト書き出しマクロがスタートすると、文書内の画像を貼り付けたい位置にダミー画像を貼り付ける（ステップ S 5 5 1）。つづいて、撮影リスト書き出しボタンが押下されたか否かを判断し（ステップ S 5 5 2）、撮影リスト書き出しボタンが押下された場合には、選択されたセルの位置に記載された項目をリストの形式に並べる（ステップ S 5 5 3）。そして、貼り付ける位置に入っているダミーの画像のサイズを読み込み、そのセルサイズを計算して設定する（ステップ S 5 5 4）。

【 0 0 7 3 】

つづいて、デジタルカメラが接続されているか否かを判断し（ステップ S 5 5 5）、デジタルカメラが接続されている場合には、デジタルカメラが接続されていると判断した場合には、ステップ S 5 5 6 に移行して、カット名、貼り付けサイズの入った撮影リストファイルを転送する。

【 0 0 7 4 】

他方、デジタルカメラでは、パーソナルコンピュータ（PC）と接続されているか否かを判断し（ステップ S 5 6 1）、パーソナルコンピュータが接続されている場合には、ステップ S 5 6 2 に移行し、デジタルカメラから撮影リストが転送されてきたか否かを判断し、デジタルカメラから撮影リストが転送されてきた場合には、自機の機種に応じた撮影リストであるか否かを判断し（ステップ S 5 6 3）、自機の機種に応じた撮影リストである場合には、撮影リスト内に記載さ

れた撮影項目を読み込む（ステップ S 5 6 4）。つづいて、撮影リスト撮影モードであるか否かを判断し（ステップ S 5 6 5）、撮影リスト撮影モードである場合には、撮影リスト内の貼り付けサイズを読み込む（ステップ S 5 6 6）。そして、貼り付けサイズに応じた画像の撮影を行う（ステップ S 5 6 7）。撮影後、撮影が全て終了したか否かを判断し（ステップ S 5 6 8）、撮影が全て終了していない場合にはステップ S 5 6 6 に移行して、撮影が全て終了するまで同じ処理を繰り返す（ステップ S 5 6 6 ～ S 5 6 8）。

【 0 0 7 5 】

以上説明したように、動作例 1 3 によれば、パーソナルコンピュータで、動作例 3 6 では、パーソナルコンピュータで、文書に予めダミーの画像を貼り付けておいて、その画像のサイズを読み出して、マクロを起動して、自動的に画像サイズを撮影リストに取り込み、撮影リストをデジタルカメラに転送することとしたので、指示書作成・転送の作業効率をアップさせることができ、使用者の使い勝手が良くなる。

【 0 0 7 6 】

[動作例 1 4]

動作例 1 4 を図 1 6 を参照して説明する。図 1 6 は動作例 1 4 におけるデジタルカメラ 1 0 0 側の動作を説明するためのフローチャートを示す。動作例 1 4 では、デジタルカメラはメールで撮影指示ファイルを受信すると、撮影指示ファイルに従って撮影を行う場合の動作例を説明する。

【 0 0 7 7 】

まず、デジタルカメラでは、E - M A I L を受信したか否かを判断し（ステップ S 5 7 1）、E - M A I L を受信した場合には、ステップ S 5 7 1 に移行し、受信した E - M A I L の内容が撮影リストであるか否かを判断する（ステップ S 5 7 2）。受信した E - M A I L の内容が撮影リストである場合には、自機の機種に対応した撮影リストであるか否かを判断し（ステップ S 5 7 3）、自機の機種に対応した撮影リストである場合には、撮影リストとして添付ファイルを読み込む（ステップ S 5 7 4）。そして、撮影リスト撮影モードであるか否かを判断し、撮影リスト撮影モードである場合には、撮影リストの内容（カット名、貼り

付けサイズ等)を読み込む(ステップS 5 7 6)。

【0 0 7 8】

そして、撮影リストの指示に従って、撮影を行う(ステップS 5 7 7)。そして、撮影が全て終了したか否かを判断し(ステップS 5 7 8)、撮影が全て終了していない場合にはステップS 5 7 6に移行して、撮影が全て終了するまで同じ処理を繰り返す(ステップS 5 7 6～S 5 7 8)。

【0 0 7 9】

以上説明したように、動作例1 5によれば、メールで撮影指示ファイルを受信すると、撮影指示ファイルに従って撮影を行うこととしたので、指示書作成・転送の作業効率をアップさせることができ、使用者の使い勝手が良くなる。

【0 0 8 0】

[動作例1 6]

動作例1 6を図1 6を参照して説明する。図1 6は動作例1 6におけるデジタルカメラ1 0 0側の動作を説明するためのフローチャートを示す。動作例3 8では、デジタルカメラでは、Webブラウザで、Webサーバーのホームページから撮影指示ファイルを取り込み、取り込んだ撮影指示ファイルに従って撮影を行う場合の動作例を説明する。

【0 0 8 1】

まず、デジタルカメラでは、Webモードであるか否かを判断し(ステップS 5 8 1)、Webモードである場合には、ホームページからファイルを読み込むモードであるか否かを判断する(ステップS 5 8 2)。ホームページからファイルを読み込むモードである場合には、機種に応じたリストであるか否かを判断する(ステップS 5 8 3)。機種に応じたリストである場合には、ステップS 5 8 4に移行し、撮影リストとしてホームページ上の添付ファイルをダウンロードする(ステップS 5 8 4)。そして、撮影リスト撮影モードであるか否かを判断し(ステップS 5 8 5)、撮影リスト撮影モードである場合には、撮影リストの内容(カット名、貼り付けサイズ等)を読み込む(ステップS 5 8 6)。

【0 0 8 2】

そして、撮影リストの指示に従って、撮影を行う(ステップS 5 8 7)。そし

て、撮影が全て終了したか否かを判断し（ステップ S 5 8 8）、撮影が全て終了していない場合にはステップ S 5 8 6 に移行して、撮影が全て終了するまで同じ処理を繰り返す（ステップ S 5 8 6 ～ S 5 8 8）。

【 0 0 8 3 】

以上説明したように、動作例 3 8 によれば、デジタルカメラでは、Web ブラウザで、Web サーバーのホームページから撮影指示ファイルを取り込み、取り込んだ撮影指示ファイルに従って撮影を行うこととしたので、指示書作成・転送の作業効率をアップさせることができ、使用者の使い勝手が良くなる。

【 0 0 8 4 】

[動作例 1 7]

動作例 1 7 を図 1 7 を参照して説明する。図 1 7 は動作例 1 7 におけるパーソナルコンピュータ 2 0 0 側の動作を説明するためのフローチャートを示す。動作例 3 9 では、デジタルカメラによって撮影リストに従って撮影した画像ファイルを取り込んで、撮影指示リストに撮影画像を貼り付ける動作を説明する。

【 0 0 8 5 】

まず、パーソナルコンピュータ 1 0 0 では、撮影リスト読み込みモードが否かを判断し（ステップ S 5 9 1）、撮影リスト読み込みモードである場合には、デジタルカメラと接続されているか否かを判断する（ステップ S 5 9 2）。デジタルカメラと接続されていると判断した場合には、接続されるデジタルカメラ内の撮影済みの撮影リストを画像とともに読み込む（ステップ S 5 9 3）。読み込みが終了したか否かを判断し（ステップ S 5 9 4）、読み込みが終了した場合には、スプレッドシートの貼り付け位置に応じたサイズを読み込む（ステップ S 5 9 5）。読み込んだ画像をセルのサイズに併せて画像サイズを変換する（ステップ S 5 9 6）。そして、画像サイズの変換が終了したか否かを判断して（ステップ S 5 9 7）、画像サイズの変換が終了した場合には、セルの指定位置に変換された画像を貼り付ける（ステップ S 5 9 8）。

【 0 0 8 6 】

以上説明したように、動作例 1 7 によれば、デジタルカメラでは、デジタルカメラによって撮影リストに従って撮影した画像ファイルを取り込んで、撮影指示

リストに撮影画像を貼り付けることとしたので、指示書作成・転送の作業効率をアップさせることができ、使用者の使い勝手が良くなる。

【 0 0 8 7 】

【発明の効果】

本発明によれば、画像入力装置に操作指示を与えるための、当該画像入力装置の機種名情報を含みかつ当該機種に応じた撮影リストを作成する撮影リスト作成手段と、前記撮影リスト作成手段で作成された撮影リストを前記画像入力装置に転送するための通信手段と、を備えたこととしたので、使い勝手が良くなる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本実施の形態に係るデジタルカメラの構成図である。

【図 2】

図 1 の I P P の具体的構成の一例を示す図である。

【図 3】

A G C アンプのコントロール電圧 (C o n t r o l V o l t a g e) と出力ゲイン (M e a s u r e d G a i n) との関係を示す図である。

【図 4】

ぶれ量の表示例を示す図である。

【図 5】

手ぶれ補正内容の表示例を示す図である

【図 6】

本実施の形態に係るデジタルカメラの構成図である。

【図 7】

図 1 の I P P の具体的構成の一例を示す図である。

【図 8】

A G C アンプのコントロール電圧 (C o n t r o l V o l t a g e) と出力ゲイン (M e a s u r e d G a i n) との関係を示す図である。

【図 9】

ぶれ量の表示例を示す図である。

【図 1 0】

手ぶれ補正内容の表示例を示す図である。

【図 1 1】

本実施の形態に係るデジタルカメラの構成図である。

【図 1 2】

図 1 の I P P の具体的構成の一例を示す図である。

【図 1 3】

A G C アンプのコントロール電圧 (C o n t r o l V o l t a g e) と出力ゲイン (M e a s u r e d G a i n) との関係を示す図である。

【図 1 4】

ぶれ量の表示例を示す図である。

【図 1 5】

手ぶれ補正内容の表示例を示す図である

【図 1 6】

本実施の形態に係るデジタルカメラの構成図である。

【図 1 7】

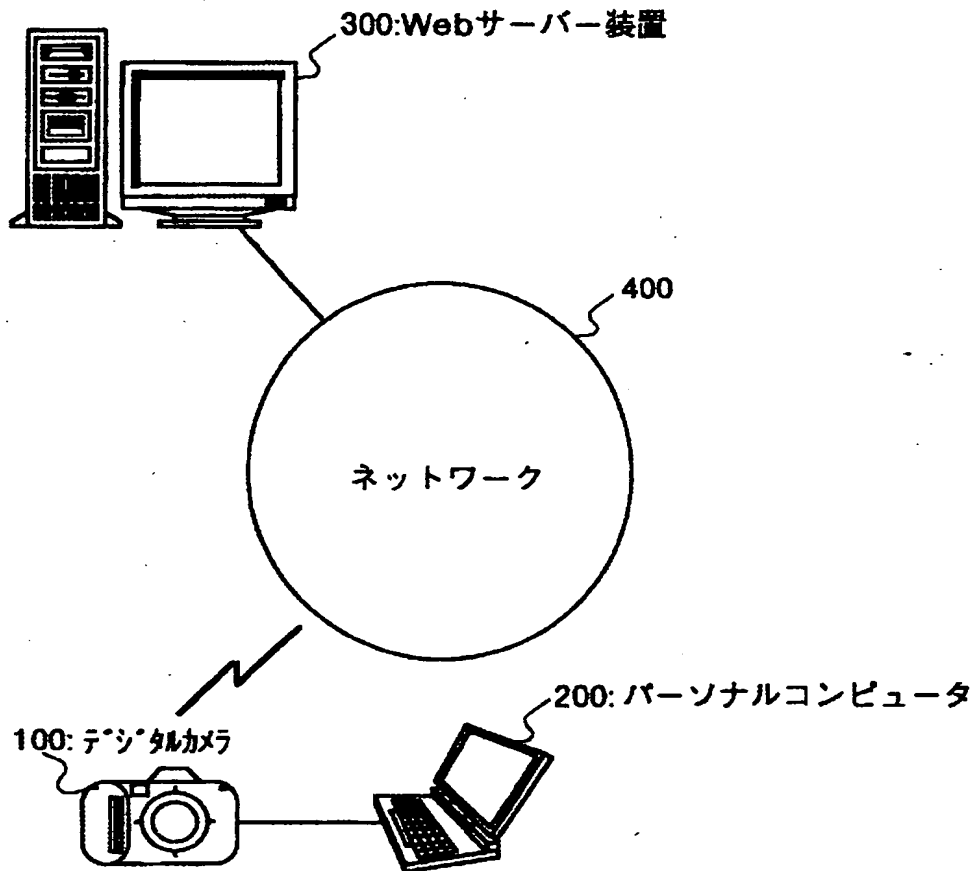
図 1 の I P P の具体的構成の一例を示す図である。

【符号の説明】

- 1 0 0 デジタルカメラ
- 1 0 1 レンズ系
- 1 0 1 a フォーカスレンズ系
- 1 0 1 b ズームレンズ系
- 1 0 2 オートフォーカス等を含むメカ機構
- 1 0 3 C C D (電荷結合素子)
- 1 0 4 C D S (相関 2 重サンプリング) 回路
- 1 0 5 可変利得増幅器 (A G C アンプ)

【書類名】 図面

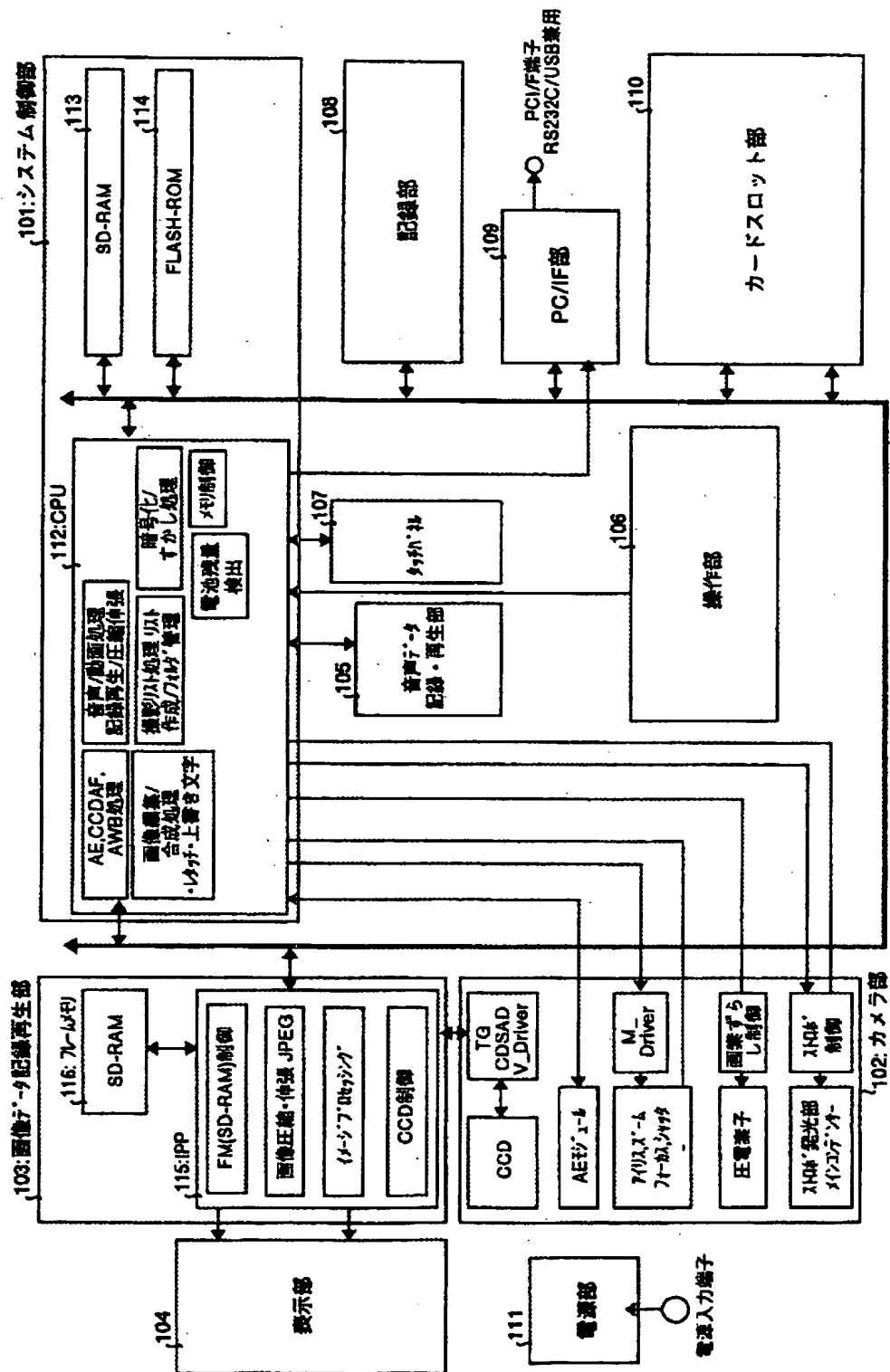
【図 1】



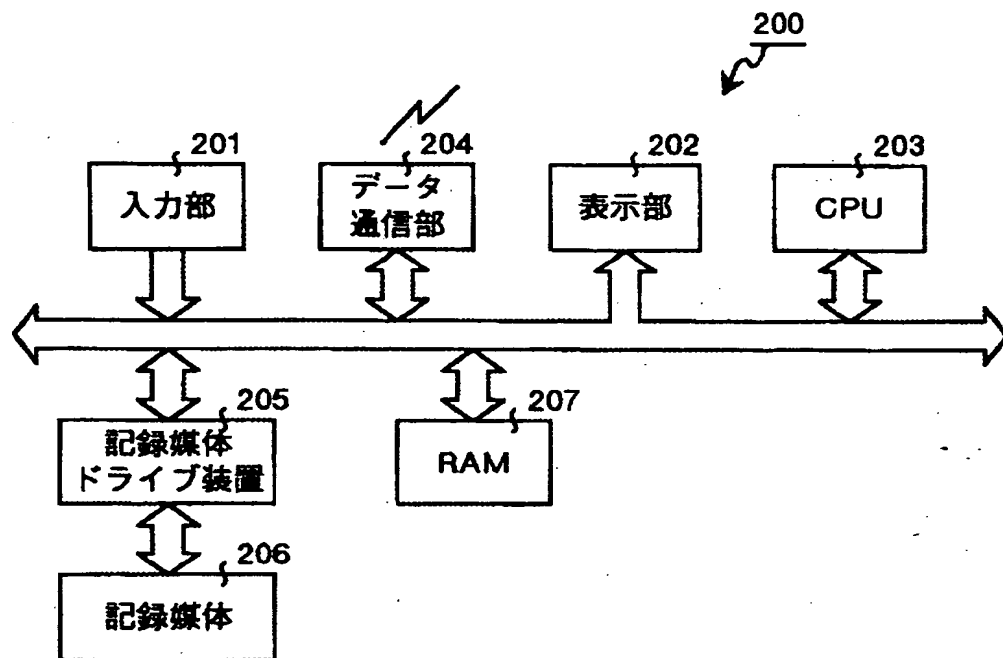
【図 2】

No.	商品名	撮影指示
1	バッグ	
2	バッグ	ブランドの「K」の文字がはっきり見えるように撮影
3	女性用ミニバッグ	軽くて、おしゃれな感じを出す
4	手提げバッグ	携帯電話を入れるポケットがあることがわかるように撮影
5	名刺入れ	2個ならべて、裏と表のデザインがわかるように
6	ペントレー	実際にペンをのせて撮影
7	札入	色違い3色をならべて撮影
8	ペンケース	大きさがわかるようにタバコを並べて撮影

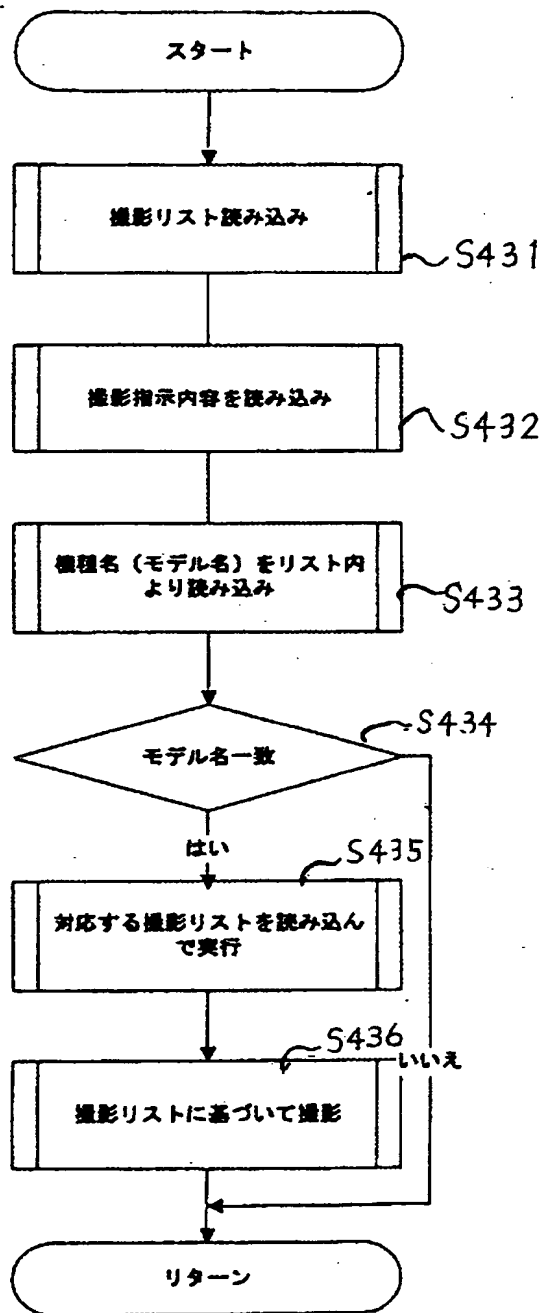
【図 3】



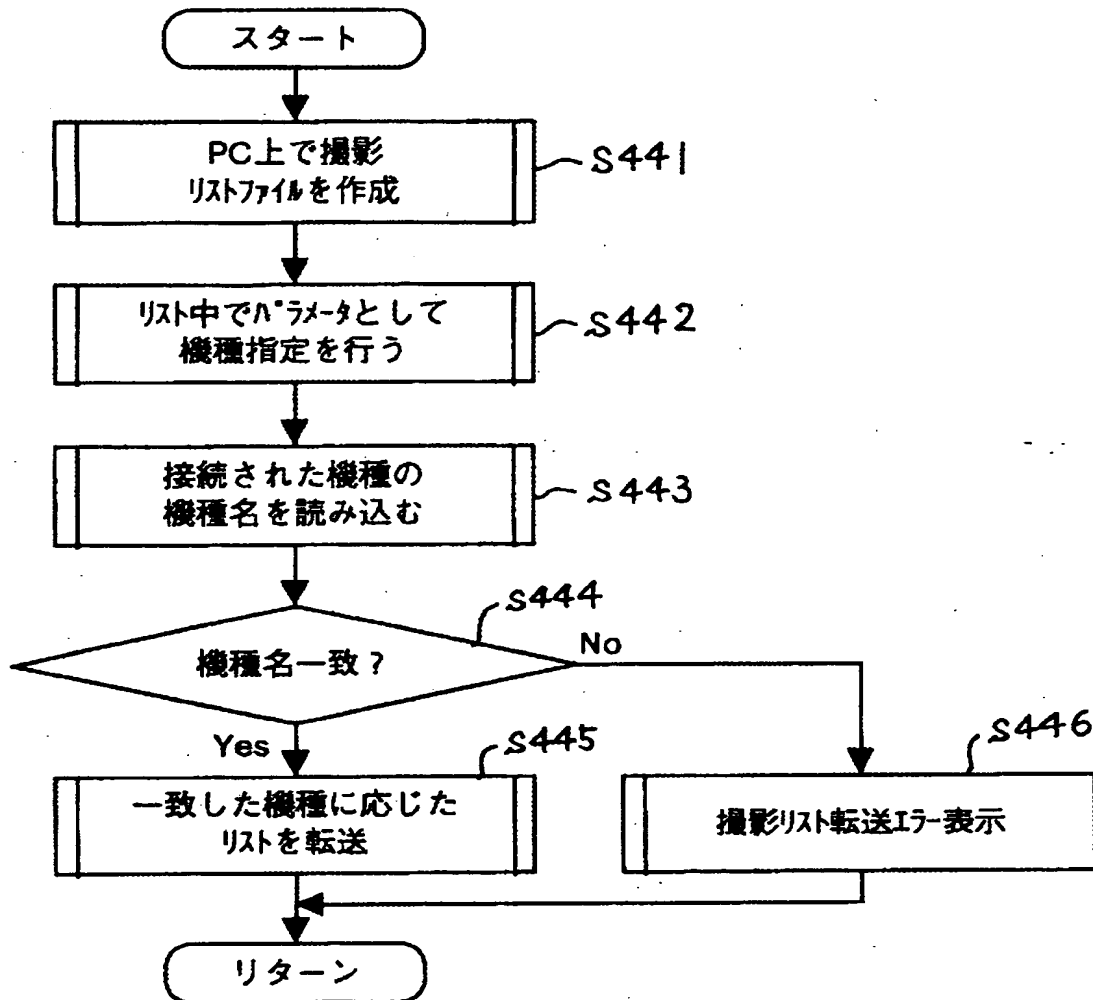
【図 4】



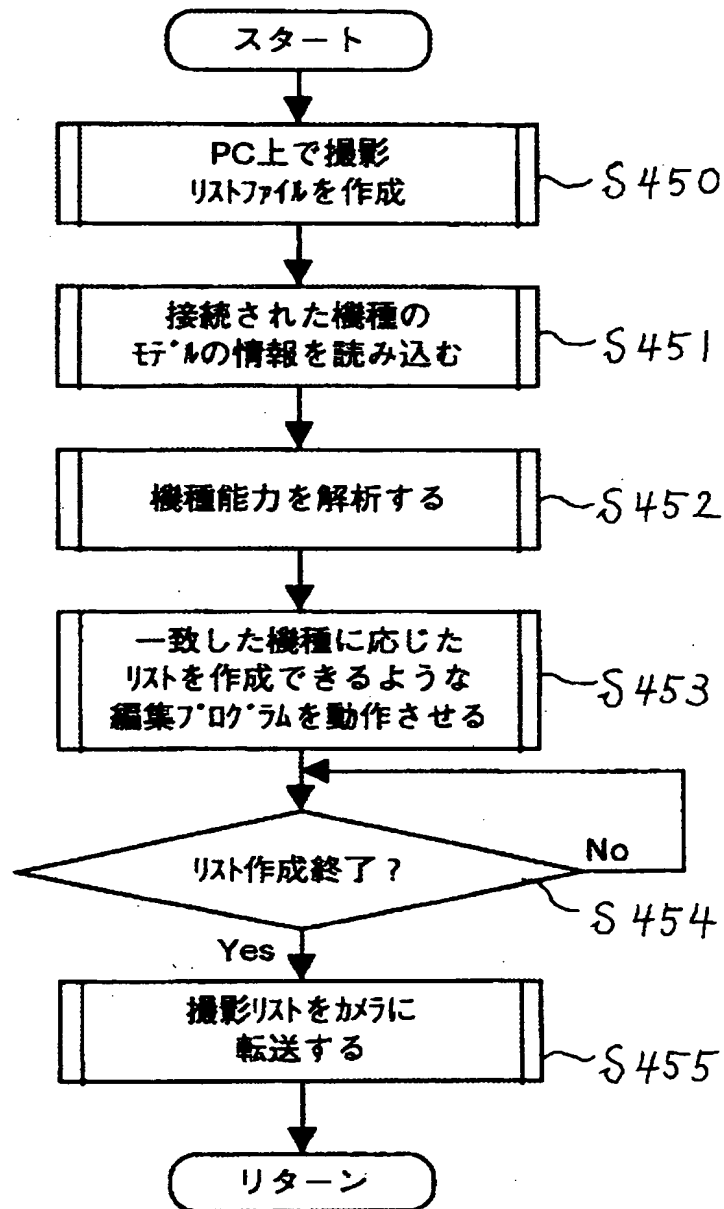
【図 5】



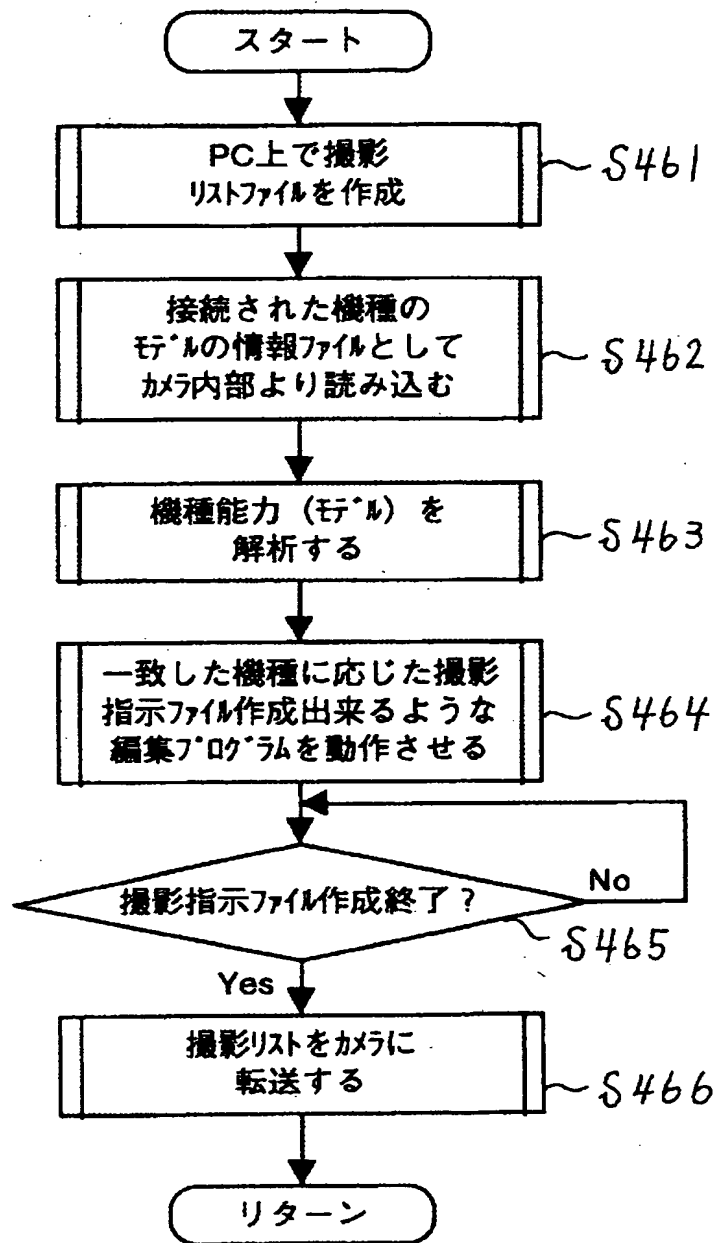
【図6】



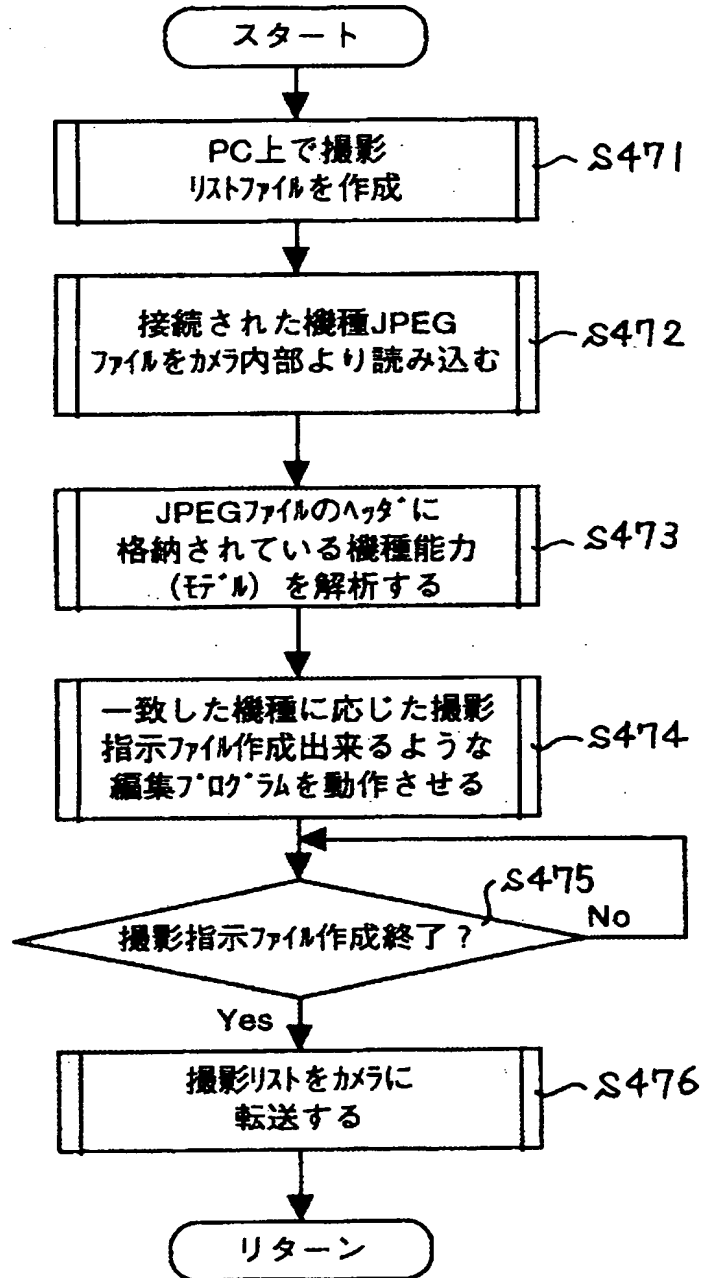
【図 7】



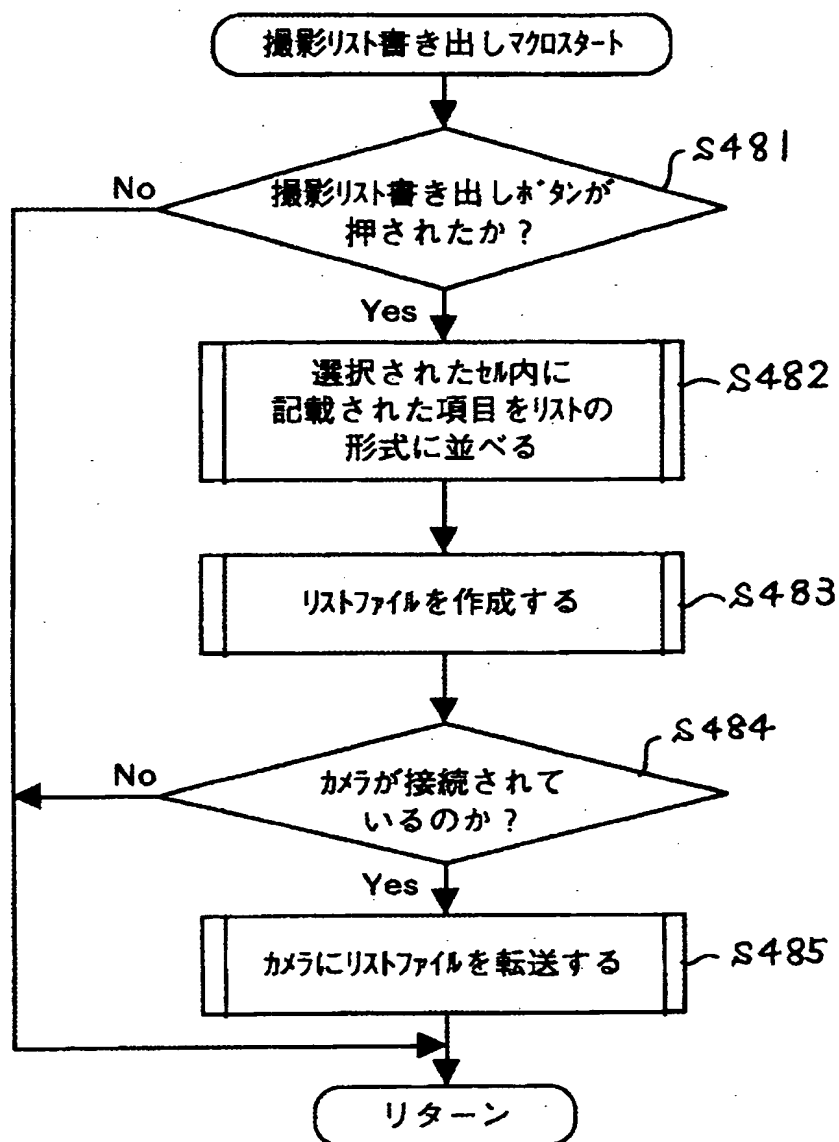
【図 8】



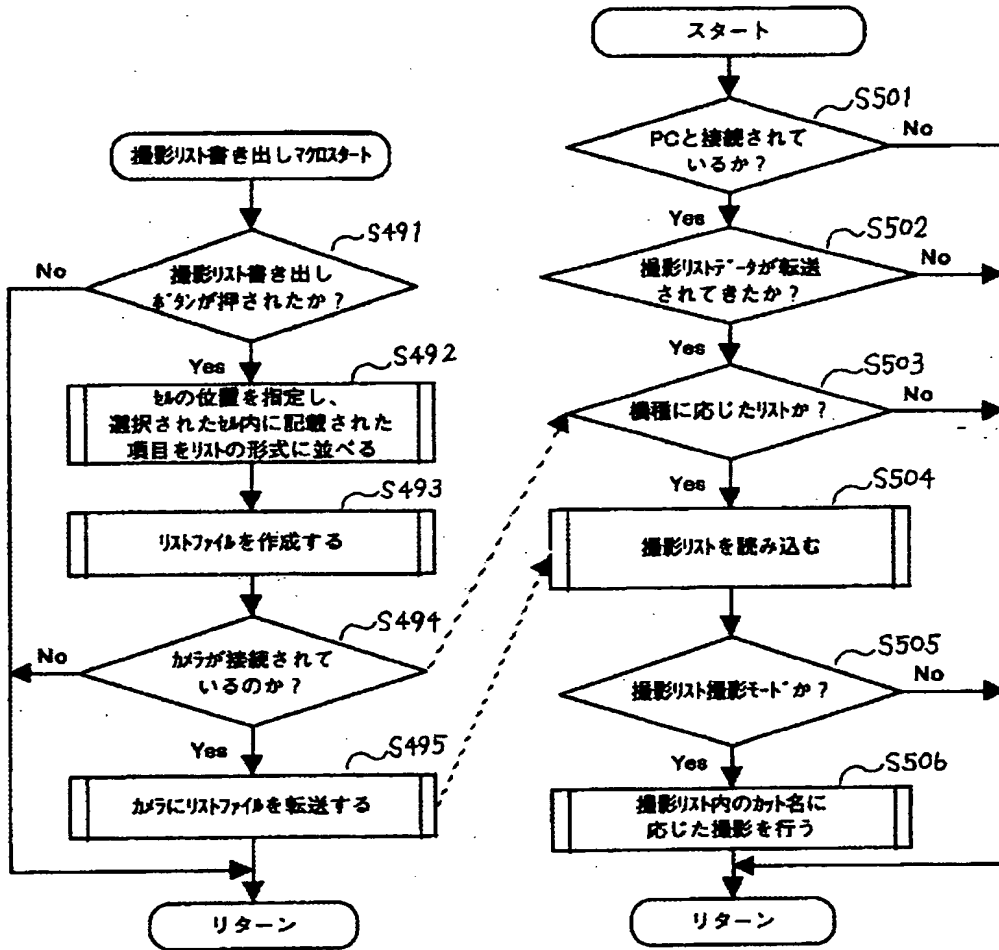
【図9】



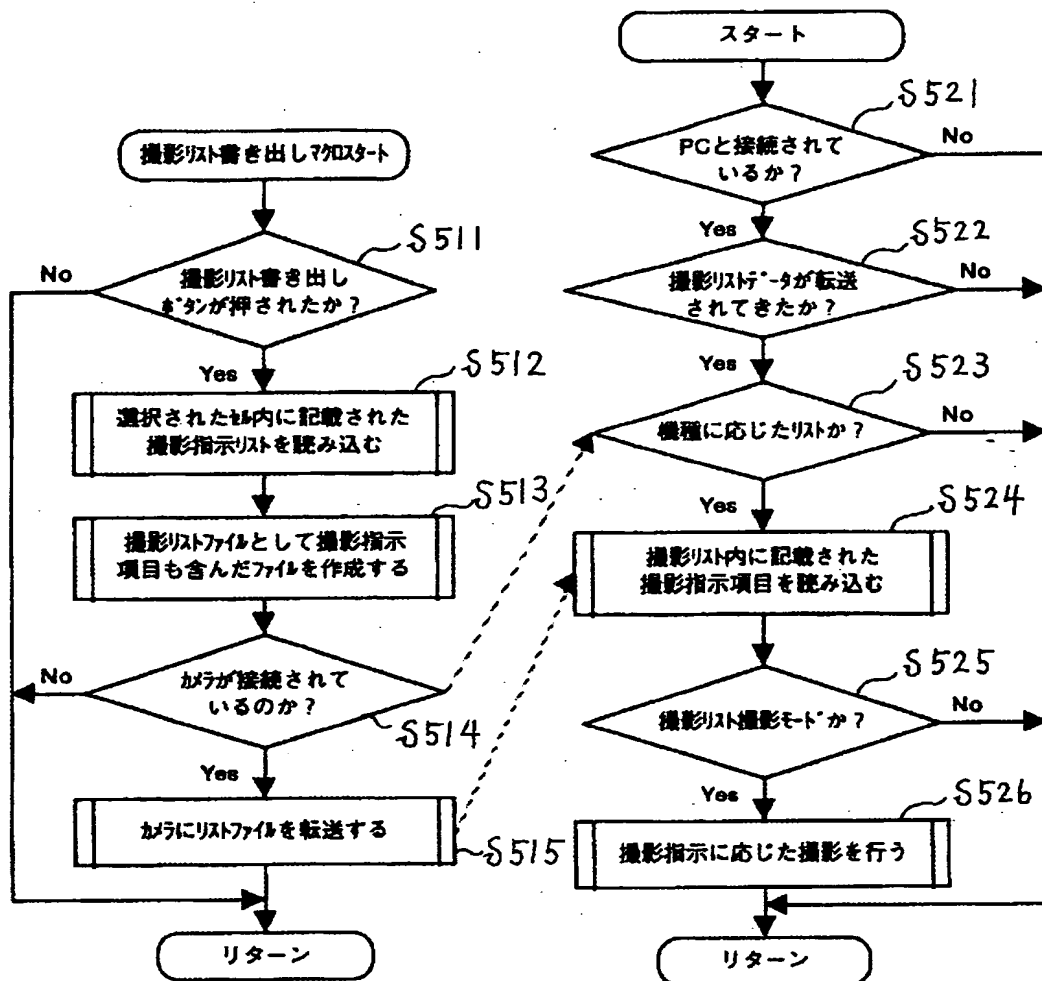
【図10】



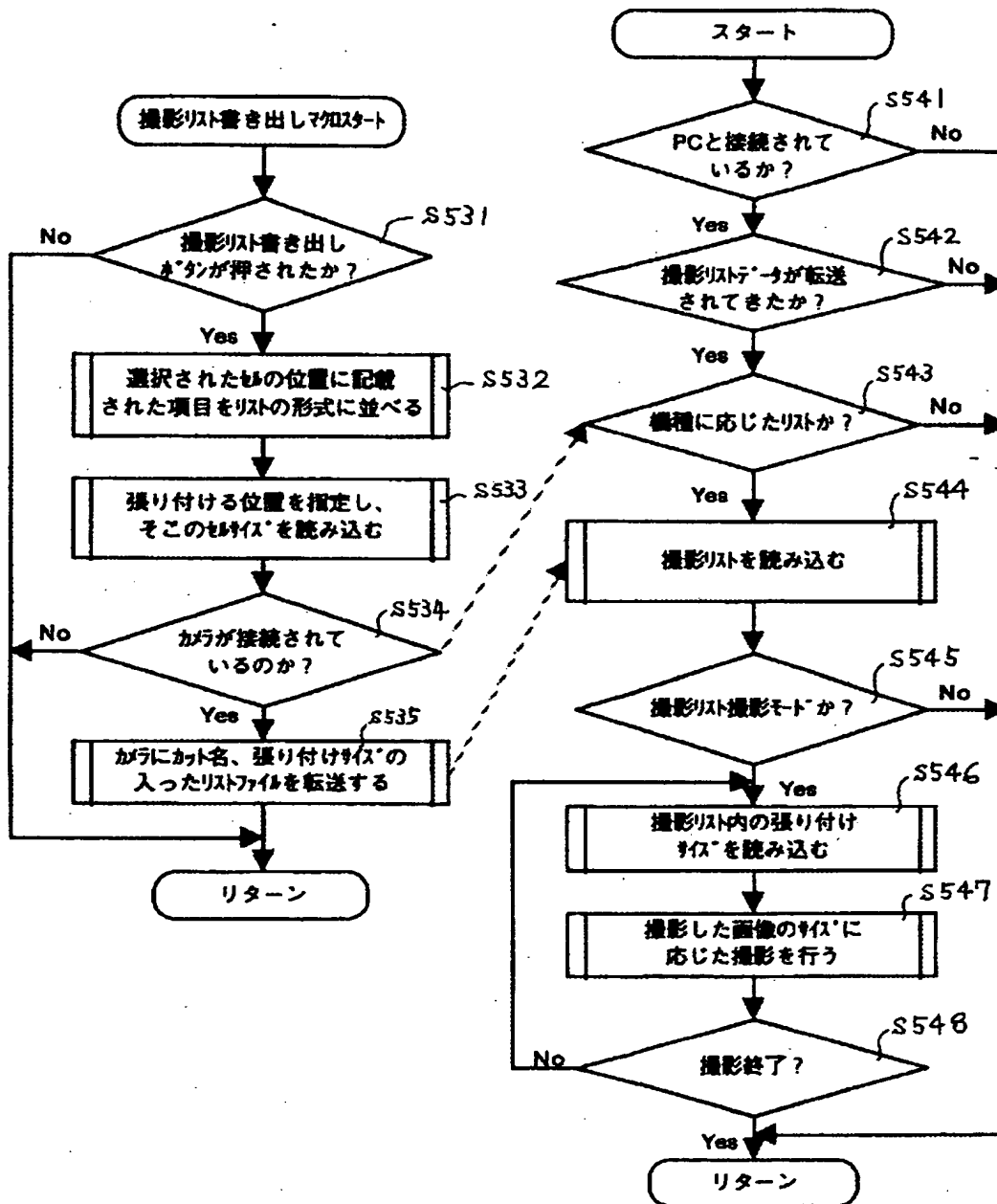
【図 11】



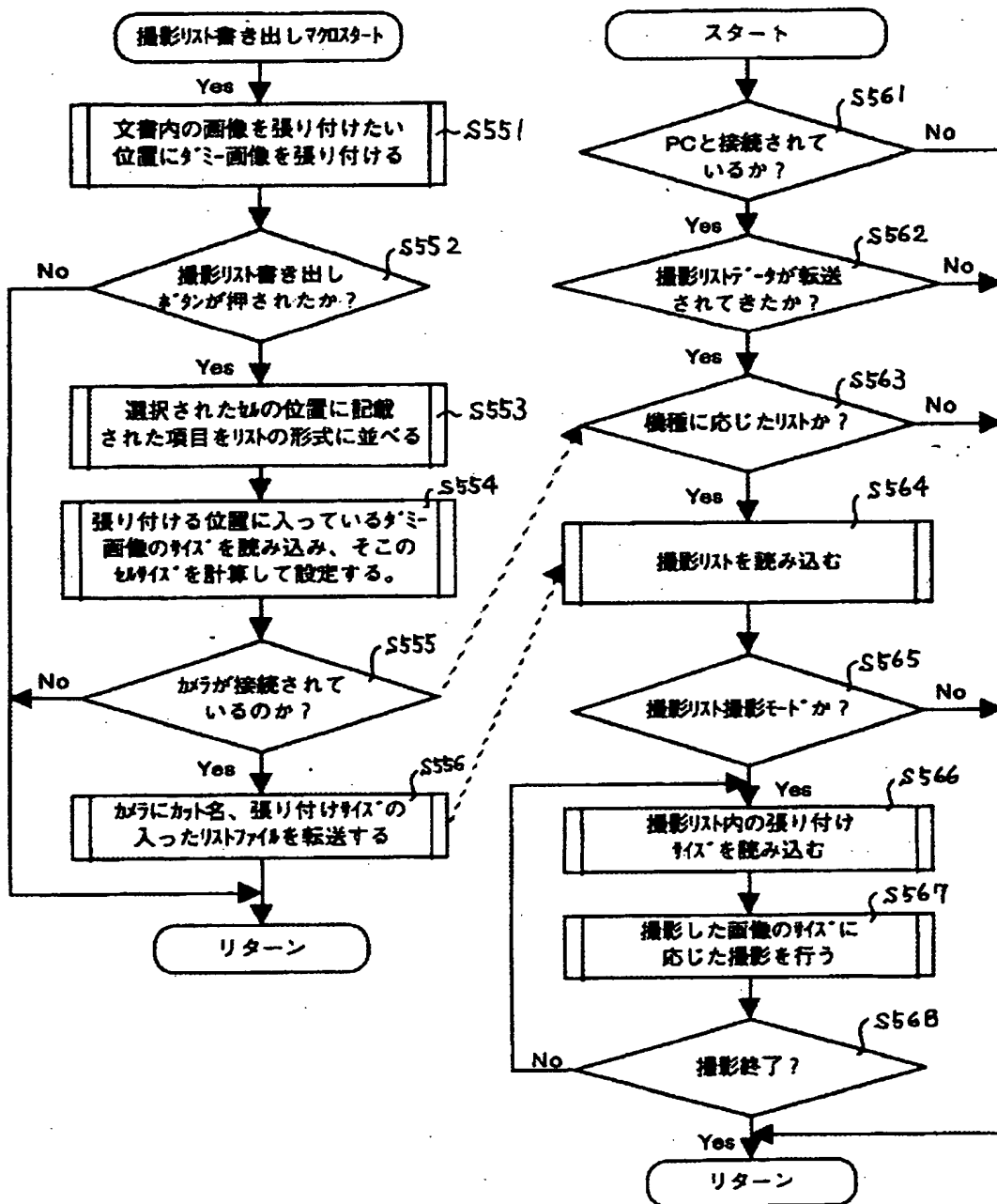
【図 12】



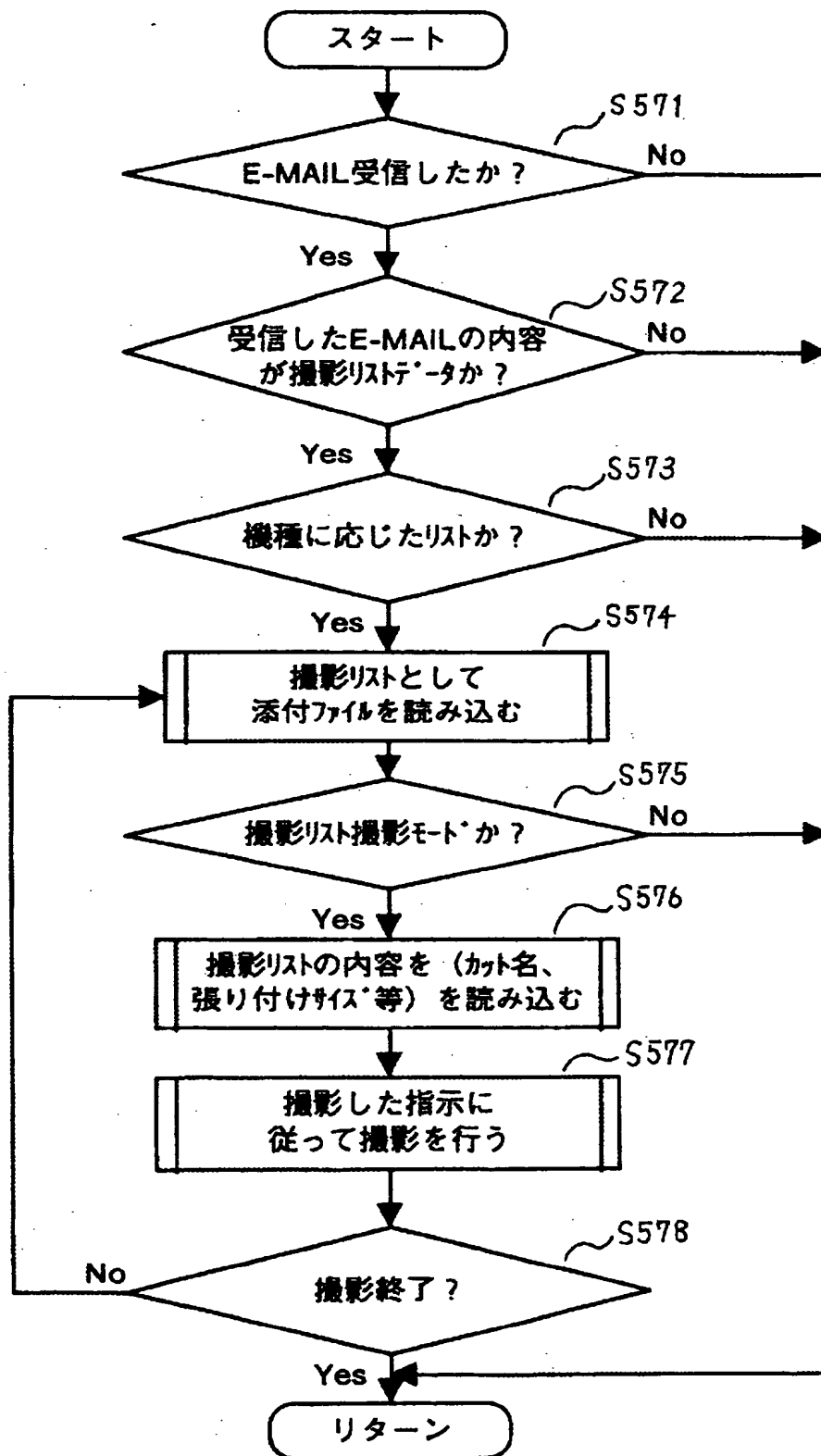
【図 13】



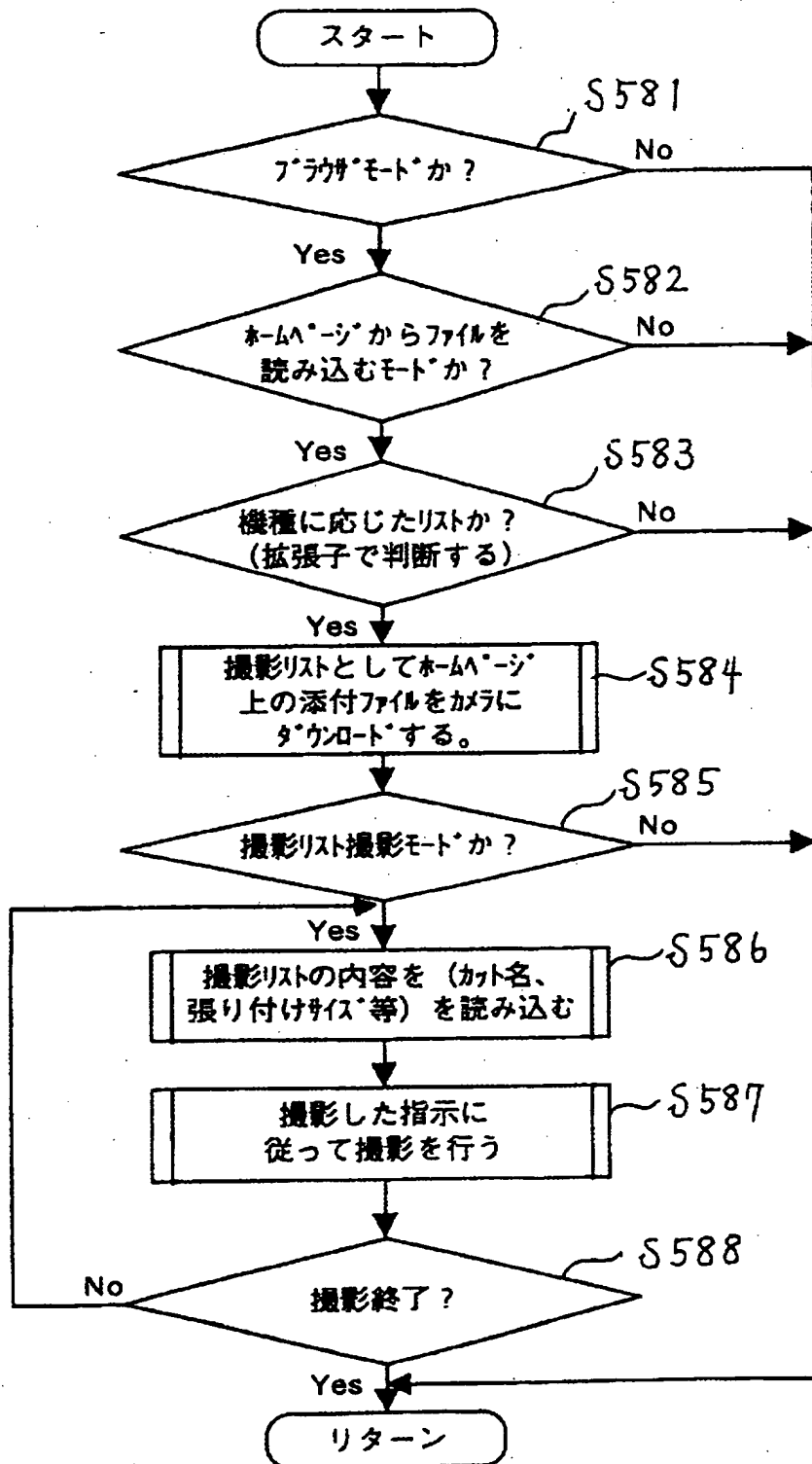
【図14】



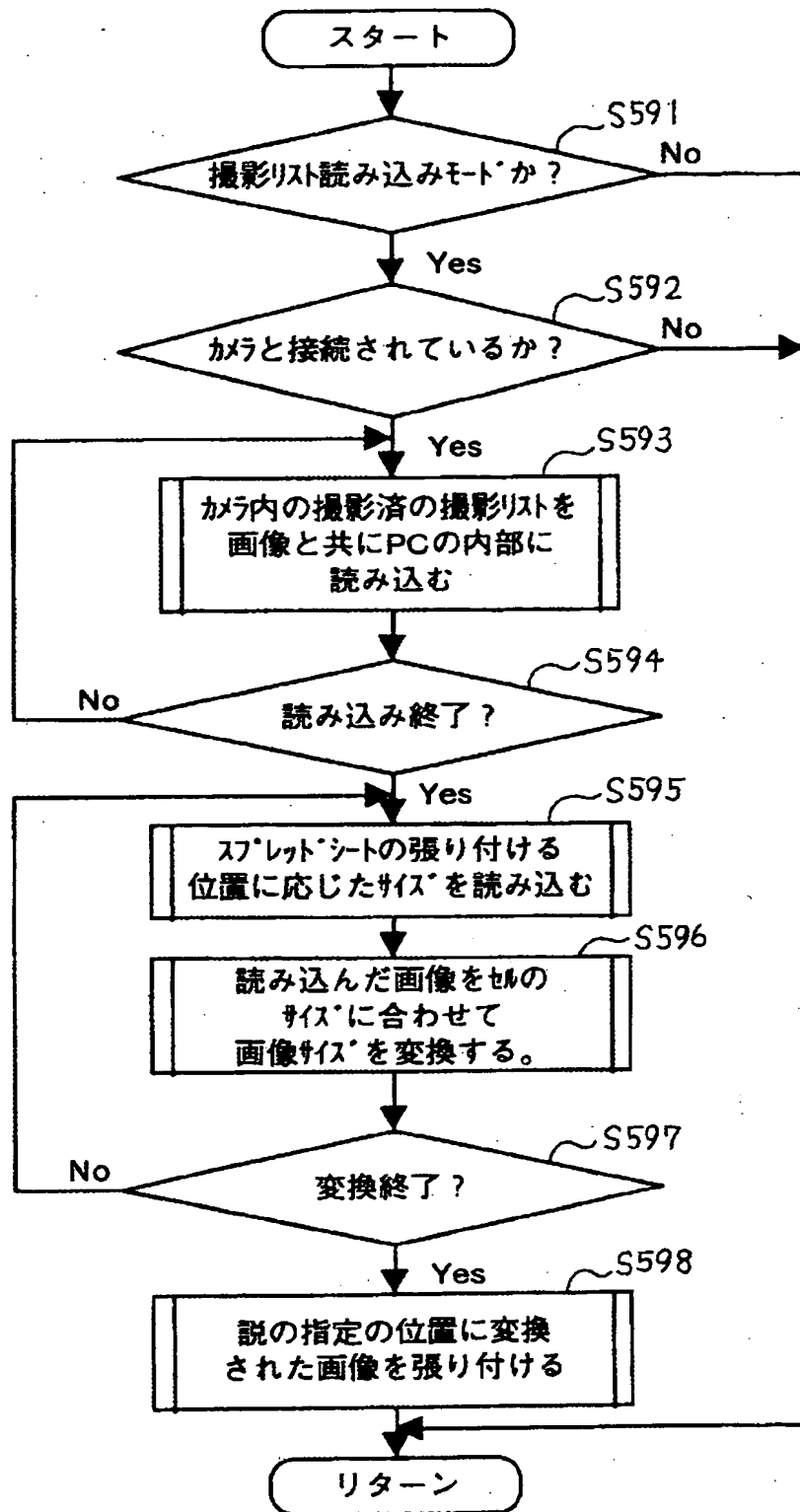
【図 1 5】



【図16】



【図 17】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 作業ミスや取り忘れを防止可能な情報処理装置を提供すること

【解決手段】 本発明の情報処理装置は、画像入力装置に操作指示を与えるための、当該画像入力装置の機種名情報を含みかつ当該機種に応じた撮影リストを作成する撮影リスト作成手段と、前記撮影リスト作成手段で作成された撮影リストを前記画像入力装置に転送するための通信手段と、を備えたものである。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000006747]

1. 変更年月日	1990年 8月24日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都大田区中馬込1丁目3番6号
氏 名	株式会社リコー